

幼児の学びの質を支える教師



指導計画（お茶会、4歳児）	
<p>お茶会を通して友達と一緒に遊ぼうよや友達と遊ぶ楽しさを伝える。</p> <p>お茶会を通して友達と遊ぶ楽しさを伝える。</p> <p>お茶会を通して友達と遊ぶ楽しさを伝える。</p>	<p>お茶会を通して友達と一緒に遊ぼうよや友達と遊ぶ楽しさを伝える。</p> <p>お茶会を通して友達と遊ぶ楽しさを伝える。</p> <p>お茶会を通して友達と遊ぶ楽しさを伝える。</p>

遊びの計画と教材などの準備

教師は、幼児が遊びから学んでいくにはどうしたらよいか話し合って遊びの計画（指導計画）を作成します。また、遊びを通した学びは人やものなど周りの環境が大切なので、教師は、幼児が遊びから何を学ぶかを予想し、思わずかわりたくなるように準備していきます。

先生は小学校と同じ教師

幼稚園の先生は、小学校の先生と同様、教師となるために必要な講義や教育実習などを経て、教員免許を取得しています。そして、研修などを通して、教師としての力量を一層高めていきます。



遊びの中での教師のかかわり

教師は一人一人の幼児を理解し、一緒に遊びながら幼児の興味が広がったり深まったりしてさらに楽しめるようにします。教師がすぐに手助けすると自分で工夫したり、友達と助け合ったりする機会が少なくなることもあるため、教師はすべてを手伝うのか、ヒントを与えるのか、自分たちで解決できるまで見守るのかなどを考えてかかわります。

遊びの計画は、 教育目標・カリキュラムに基づいて

・教育目標とカリキュラム（教育課程）

国が示す法令や幼稚園教育要領に基づいて、各幼稚園の特性に応じた教育目標を作成し、幼児の充実した生活を展開できるような計画を示すカリキュラム（教育課程）を編成しています。

・カリキュラム・マネジメント

教育の効果を常に検証して改善し、さらに、地域と連携してよりよい学校教育を目指しています。また、全教職員の協力体制の下、組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図っています。

「幼稚園教育要領」とは、全国どこの幼稚園でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めているもので、幼稚園の活動内容のもとになるものです。